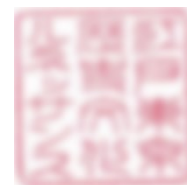


# 江戸東京歴史文化ルネッサンス 基本構想

2018(平成30)年4月  
理事長 小竹直隆



1. 世界は、21世紀初頭から、歴史的文化的創造による都市間競争（特に首都の都心部）の時代に入り、地球規模の大交流時代が到来している。一方、日本・都市東京の世界に類を見ない超少子・超高齢化社会の課題解決に、今、世界の注目が集まっている。
2. 都市東京は、四百年以上蓄積された世界に誇るべき、傑出した歴史文化遺産を潜在化させている。先進諸国のトレンド「クリエイティブシティ（歴史と創造都市）」として、東京の歴史的伝統と文化的個性を創造し、世界に評価される文化遺産を目指していこう！
3. 静謐で、特別な環境にある皇居東御苑に、復元を検討する「江戸城」は、日本一壮大で美しく、櫓、門、石垣、豊かな水を湛えたお濠は、雄大なスケールで城郭を包みつつ、江戸から明治・東京へと移り変わりゆく下で、しかし、歴史や文化は連綿と続いている。  
今こそ、城郭都市東京を再検証し、都市の品格を創造しよう。近未来、江戸城は国の宝となり、平和のシンボルとなり、市民の誇り（シビックプライド）としよう。
4. 日本の城郭建築の最高到達点である「江戸城」は純国産の木材により復元を検討し、伝統工法で、「日本の木・土・石・水・豊かな自然」と「伝統技術の継承」を世界にアピールしていこう。
5. 「伝統」と「革新」が共存・融合するコスモポリタンの文化都市東京にあっては、「江戸・東京歴史文化ルネッサンス」により、住んで好し、訪れて佳し、働いて佳し、楽しさある都市東京の実現に向けて、新たなクリエイティブな産業を生み出していこう。
6. 歴史的文化的価値により「江戸・東京ブランド」を生み出し、東京から日本の津々浦々へ、東アジアへ、世界の国々へと発信していこう。双方向で交流しあい、力を合わせて歴史文化ルネッサンスを、国内外の「地方創生の礎」としていこう。
7. 江戸東京歴史文化ルネッサンスは、国家的事業であり、それを支える歴史文化まちづくり運動に主体的に参画し、産学官民との協働を進め、一人ひとりの期待役割と使命を果たすことにより、持続可能な真の文化観光先進国を創造し、日本の発展に寄与していこう。